

1998年1月の蔵王火山における地震活動*

Seismic Activity in and around Zao Volcano in January, 1998.

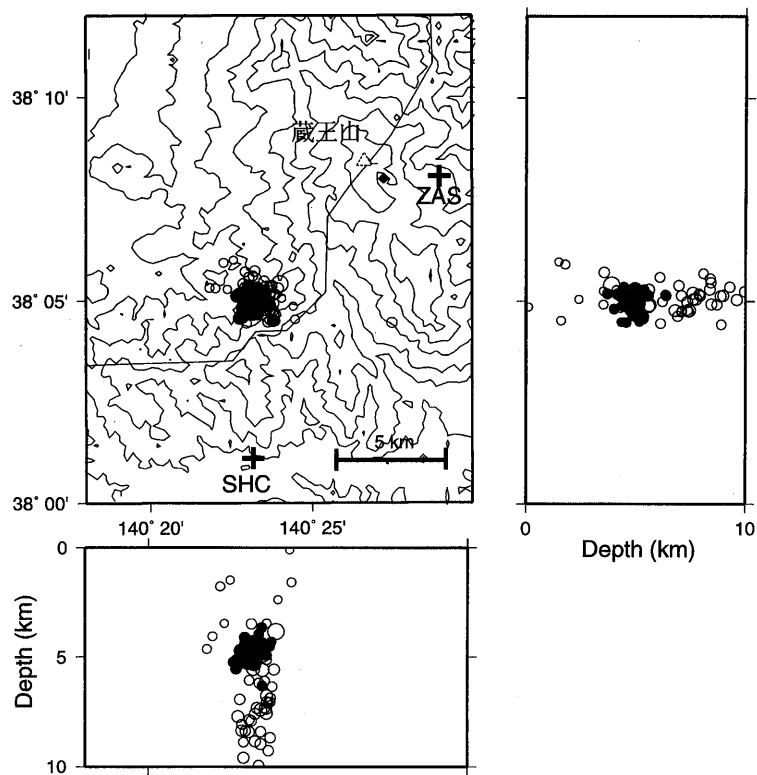
東北大学理学部

地震・噴火予知研究観測センター

Research Center for Prediction of Earthquakes and
Volcanic Eruptions, Faculty of Science, Tohoku University

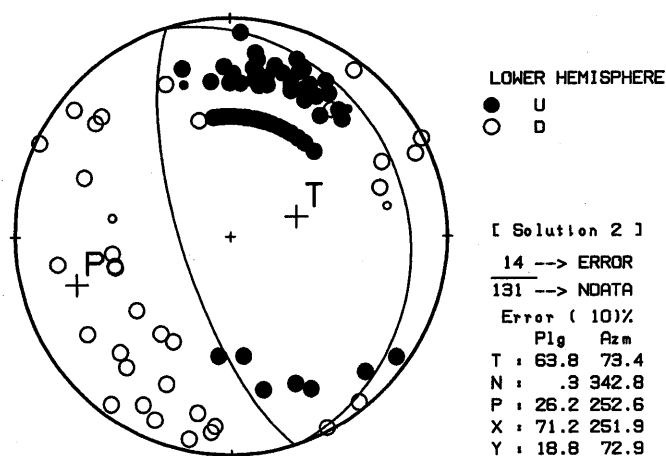
1998年1月9日21時8分に、蔵王火山の山頂から南西約7.5kmの地域でM4.3の地震とその余震が発生した。前日から前震が発生しており、前震－本震－余震型の地震活動であった。第1図に1月8日～31日の期間に自動処理によって決定された前震、本震、余震の震源分布を白丸で示す。震源決定に用いた観測点の組み合わせが一定でないために深さのばらつきが大きい。観測点の組み合わせを同一にするため、周辺の8観測点のみを用いて再決定した1月8日～16日までの震源を黒丸で示す。第2図にP波初動分布から求められたM4.3の本震のメカニズム解を示す。メカニズム解と震源分布を比較すると、高角西下がりの断層面が推定される。

* Received 20 Mar., 1998



第1図 1998年1月9日21時8分に蔵王火山近傍で発生したM4.3の地震とその前震、余震の震源分布。白丸は自動処理による震源（1月8日～31日）、黒丸は周辺の8観測点のみを用いて再決定した震源（1月8日～16日）。十字印は火山観測点を示す。

Fig.1 Hypocenter distribution of the earthquakes observed in and around Zao volcano. Open circles are hypocenters determined by automatic processing system in the period from January 8 to 31. Solid circles are those relocated with a uniform station method using 8 stations near the volcano in the period from January 8 to 16.



第2図 本震（1998年1月9日21時8分M4.3）のP波初動極性により求めたメカニズム解（下半球投影）。

Fig.1 Focal mechanism solution of the main shock (m4.3;21:08, January 9, 1998) and P wave polarity data shown in an equal-area lower-hemisphere projection.